

取組企業 美樹工業株式会社

兵庫県姫路市に本社を構える、美樹工業株式会社。建築・土木・設備・ガス工事などを手がける総合建設業として、地域のインフラを支えています。再生可能エネルギー事業や地域貢献活動に取り組む一方、若手や女性を含む多様な人材が活躍できる職場環境づくりにも注力。同社では、次の目標を掲げながらSDGs活動を進めています。今回は同社SDGs委員会のメンバーにお話を伺いました。



地域に携わる会社だからこそ、恩返しを事業と社内から広げるSDGs

美樹工業が創業以来掲げてきた経営理念は、SDGsが目指す「持続可能でより良い社会の実現」という考え方に深く通じています。その理念を土台に、約5年前からSDGs活動を進めています。建設業として環境負荷の軽減に取り組む中で、エネルギーの安定供給や地球温暖化対策といった社会課題にも向き合ってきました。そうした背景から再生可能エネルギー事業に着手し、2012年には再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法(FIT法)の認定第1号を取得。現在は太陽光発電所を5カ所保有し、年間約1,341万kWhを発電しています。これは約3,350世帯分の電力に相当し、年間約5,900tのCO₂削減につながっています。「SDGsをやろうと始めたわけではなく、もともと再生可能エネルギーの事業を続けてきました。結果として、それがSDGsの目標と重なっていました。」その言葉どおり、事業としての取り組みが、SDGsの目標7や13へとつながっています。さらに、エコアクション21を導入し、電力使用量の削減やLED照明への切り替えなども継続。2025年には年間約35万kgのCO₂削減を達成し、その成果を公表しています。

できることを、できる形で。広がる取り組み

社内にはSDGs委員会が設置され、社員が参加しやすい活動を続けています。その一つが、外部団体と連携し、生活に困窮する世帯やさまざまな事情を抱える家庭へ食料を届けるフードドライブ活動です。ペットボトルキャップの回収も実施し、ワクチン支援へとつなげています。「フードドライブは、委員会設立当初のメンバーの中にボランティアとして活動に関わっていた社員がいて、会社として取り組んではどうかという声から始まりました。こちらも、もともと続けていた活動がSDGsと結びついたものです。」協賛会社や関係企業にも、少しずつ活動の輪が広がっています。建設業は多くの協賛会社とともに成り立つ仕事です。日々の取り組みを共有しながら、できることをともに続けていく。その積み重ねが、パートナーシップによる持続可能な社会づくりへとつながっています。「まずは自分たちが率先してやる。その姿を見て、賛同してくださる方が増えていけばうれしいですね。」また、建設やインフラ整備は、社会に大きな影響を与える仕事です。だからこそ、安全や品質を最優先に、環境への負荷にも配慮しながら施工を行う。それが総合建設業としての「つくる責任」です。地域貢献として続けている活動もあります。美化活動に取り組んだ小学生の標語を掲載した「ノーボーイ!カレンダー」の配布や、同社が運営する三木美術館で姫路市と共催する「姫路城めりえアートコンテスト」の開催です。「地域に根差した企業ですから、まずは姫路市から、美樹工業としてできることをやっていきたいですね。それが広がっていけば、できることも増えていくと思います。そうした積み重ねが社会貢献につながるのではないのでしょうか。」

今ある取り組みを続け、大きな力になることを期待

「まずは全社員が参加しているという意識を持ち続けてほしい」——その思いから、委員会のメンバーはSDGs活動に関する情報を定期的に社内へ発信しています。実際に、ペットボトルキャップを現場から持ち帰るスタッフも現れ、少しずつ意識の広がりを感じているといいます。また、新入社員研修の中にSDGsの時間を設け、会社の取り組みを共有。さらに外部研修にも参加し、理解を深める機会を積極的に設けています。今後は蓄電事業にも取り組み、地域内で電力を「つくり・使い・蓄える」仕組みづくりを目指す同社。将来的には地域マイクログリッドの構築を通じて、災害に強いエネルギーの地産地消を実現したい考えです。「SDGs活動については、今ある取り組みをしっかり続けることが大切だと思います。当社は社員や協力会社の数が多いことが強みです。全員ができる範囲のことに全力で取り組めば、どれほど大きな力になるのを見ていきたいですね。」これまで培ってきた技術基盤を土台に、環境と地域に寄り添う事業を一歩ずつ積み重ねていく。それが、美樹工業の変わりぬ使命です。ひょご産業SDGs認証事業でのゴールド認証は、ゴールではなく新たなスタート。地域とともに歩み、地域の未来を支える存在として、これからも挑戦を続けていきます。持続可能な社会の実現へ——その歩みを、止めることはありません。



File

2026
NUMBER
204

姫路経済情報誌 ファイル

特集

START UP 起業家紹介 〇〇P12.13

何度も作り直した一杯から始まった挑戦
13種類のスパイスが織りなす本格スープカレー
スープカレー & ベーグル しずくとまる
山本 祐樹さん

TOPICS

令和8年度 姫路市産業振興施策のご案内
〇〇P3~9

特集

Food Japan 2025 出展レポート 〇〇P10.11
田中酒造場 田中 智久さん

巻末特集

「姫路市SDGs宣言」企業のご紹介
美樹工業株式会社

希望あふれる未来へ向けた変革

きよもと ひでやす
姫路市長 **清元 秀泰**



私は、市民の皆さまの「命」をたいせつにするとともに、日々の「暮らし」を豊かにし、「一生」に寄り添うことを責務として市政運営を行ってまいりました。昨年2月に決定したブランドメッセージ「住むほどに 好きが深まる 姫のまち」には、「住みたい」から「住み続けたい」にまちを進化させたいという思いが込められており、市民の皆さまに「姫路でくらしが良かった」「これからは姫路でくらしたい」と感じていただけるよう、まちづくりに邁進しております。

昨年は、若い世代の多様なライフプランを支援するため、卵子凍結費用の助成を開始するとともに、県内で初めて、妊婦向け「RSウイルスワクチン」の接種費用の助成を実施いたしました。

また、急速なグローバル化に対応するため、産官学連携のもと発足した「ひめじグローバル人材育成コンソーシアム」により、地域社会を担うグローバル人材の育成と確保に取り組むとともに、本市への人材の呼び込みと定着を促進するため、新たに台北市などと連携を図りました。

さらに、姫路城と、オーストリアのシェーンブルン宮殿、チェコのブラハ城が、観光・経済・文化など幅広い分野での連携を目的とした姉妹城提携を締結するなど、本市が「国内外から選ばれるまちづくり」を進める上で、戦略的な布石を打つことができました。併せて、大阪・関西万博のオーストリアパビリオンで展示されていたベーゼンドルファー社製のグランドピアノを獲得できたことは、これまで取り組んできた国際交流の大きな成果であるとともに、万博のレガシーを次世代に継承していく上で、非常に意義深い取組となりました。

一方で、日本全体が人口減少や物価高騰など、不確実な社会問題に直面しております。

こうした状況を乗り越え、市民の皆さまのLIFE、「命」「くらし」「一生」を守り支えるとともに、「活力」ある姫路を創造するためには、社会の礎である「ひと」への投資に取り組むつつ、国内外から選ばれる「まち」を築きながら、人口増加の時代に構築された社会経済システムを人口減少時代でも活力を生み出すことができる「しくみ」へと変革していかなければなりません。

こうした想いのもと、姫路の今と未来を見据え、令和8年度予算を編成いたしました。このうち、特に経済界の皆さまの関心が高いと思われる施策をいくつかご紹介いたします。

▶戦略的なグローバル事業の展開

高等教育機関での短期留学生の受け入れ支援や外国人留学生向けの合同企業説明会を実施するとともに、地域経済の活性化を図るため、海外企業の誘致に取り組みます。

▶ゼロカーボンシティの推進

再生可能エネルギーの普及促進に向け、市民や事業者の皆さまに対し、太陽光発電設備や蓄電システムの導入費用等を助成します。

▶にぎわいあふれる交流空間の創出

まちなかの回遊性向上と観光消費額の増加を図るため、新たな観光交流拠点施設を整備します。

また、大規模イベントの開催が可能な「大和工業アリーナ姫路」を整備し、

スポーツを核とした交流人口拡大やにぎわい創出の起爆剤として、幅広く活用します。

▶観光資源の充実と魅力発信

姫路城を核とした市内観光の回遊性向上と観光消費額の増加を図るため、デジタルチケットの本格導入に合わせ、入城券と周辺観光をセットにしたプレミアムプランを造成・販売するとともに、18歳未満の観覧料を無料化します。

また、「Himeji大手前通りイルミネーション」の開催エリアを姫路城周辺まで拡大します。

▶地域産業の活力増進

地域未来投資促進法を活用し、地域の特性を活かして、高い付加価値を生み出す工場用地の創出を図ります。

さらに、商工団体と連携した相談窓口の設置などにより、スタートアップや事業承継への支援に取り組むほか、本市の魅力ある地場産品等の販路開拓に向け、国内外の展示会への出展を支援します。

また、中小企業の生産性向上を促進し、賃上げ環境を整備するため、AIを活用し業務の効率化に取り組む経費を助成するほか、専門家派遣による伴走支援や、DX人材の育成支援を行うなど、中小企業のDXを促進します。

併せて、中小企業の成長・発展に向け、企業・大学・支援機関等が連携し、新製品や新技術の開発などイノベーションを創出する仕組みを構築するための調査・研究を進めます。

加えて、多様な働き方を希望する市民の皆さまと企業をつなぐため、本市独自の就業マッチングプラットフォームを開設し、求人を掲載します。

▶都市基盤の強化

国や県と連携し、播磨臨海地域道路の早期整備を目指すとともに、姫路港広畑・網干地区の臨港道路及び国道250号への接続道となる市道広畑60号線の整備を推進します。

また、市南西部の渋滞解消や密集市街地の防災力向上のため、広畑幹線などの道路整備を進めるほか、姫路駅周辺の交通円滑化のため、内環状東線の整備に取り組めます。

人口減少時代において、姫路市が真に持続可能な都市として進化していくためには、自らの経験だけに頼るのではなく、先人が築き上げた歴史から多くのことを真摯に学びとりつつ、新たな道を切り拓いていく必要があります。

そのため、市民サービスの提供方法をはじめ、さまざまな分野で従来の方式を見直し、効果の薄い事業は廃止・縮小する一方で、時代のニーズに応じた分野には資源を集中させるなど、人口減少時代に適応できる行政へとモデルチェンジしていかなければなりません。

こうした改革に、戸惑いや寂寥感(せきりょうかん)を感じる方がおられるかもしれませんが、これは誰もが未来に希望を持てるまちづくりを進めるための必要な過程なのです。

今日の勇気ある決断が、明日の繁栄の礎となる。その信念のもと、市民の皆さまとの対話をたいせつにしながら、着実に前進してまいります。

希望あふれる姫路の未来を共に創りあげてまいりましょう。

令和8年度 中小企業支援メニュー編 姫路市産業振興施策のご紹介

がんばる姫路のものづくりを応援します

問い合わせ先
姫路市産業振興課 TEL.079-221-2506/2513



研究開発の促進

新産業の創出を応援!

● 新産業創出支援事業

水素、半導体、電池関連製品等の実用化に向けた研究・開発・実証に係る経費の一部を支援します。

補助額	単独申請、コンソーシアム申請ともに最大1,000万円
補助率	2/3
申請	4月27日～7月15日
補助事業期間	交付決定後1年間(令和8年9月から令和9年8月までの1年間を予定) ※補助金の支払は補助事業の完了後、令和9年12月頃となる予定です。

新製品の完成時に!

● ものづくり開発奨励事業

優れた新製品・新技術に対し、開発に要した経費の一部を支援します。補助金の交付対象者については、「ものづくり販路拡大支援事業」の利用条件を一部緩和するほか、ラジオ番組での紹介、経済情報誌への掲載などにより情報発信を支援します。

分野	電子・機械・化学 等	補助額	最大100万円	募集期間	10月中旬～12月中旬ごろ
----	------------	-----	---------	------	---------------

ものづくりの新たな可能性を拓く!

● 科学技術基盤活用促進事業

研究・技術開発を目的に県内のSPring-8などの放射光施設やスーパーコンピュータを利用する場合に、利用料などの経費の一部を支援します。

補助額	最大100万円	補助率	1/2	申請	随時(ただし、当該年度末までに支払が完了すること)
-----	---------	-----	-----	----	---------------------------

実際に体験してみよう!

● 放射光分析実習

中型放射光施設「ニュースバル」を用いた放射光分析についての講義や資料の分析実習が受講できます。

開催時期	7月(予定)	参加申込	5月上旬(予定)	※市ホームページでご案内します。
------	--------	------	----------	------------------

ものづくり企業への支援

国内・海外への展示会出展時に!

● ものづくり販路拡大支援事業

市内に主たる事業所を有し、製造業を営む中小企業者が、国内・海外で開催される見本市、展示会に出展する場合に出展料や海外渡航費などの経費の一部を支援します。オンライン展示会についても、出展料等の経費の一部を支援します。

補助額	国内:最大40万円 海外:最大200万円(海外姉妹都市・姉妹城提携都市のある国での出展の場合:最大250万円) オンライン:最大20万円
補助率	国内・オンライン:1/2 海外:2/3
申請	4月～翌年2月末(予定)
※補助金の交付は1年度に1回とし、交付を受けた年度の翌年度は交付対象外(海外での出展の場合は除く)となります。	

環境にやさしい企業活動を応援!

● 脱炭素・環境保全貸付、SDGs 関連融資に係る信用保証料相当額助成

企業のグリーン化、SDGsに対する取り組みを促進するため、対象となる兵庫県中小企業等融資制度や兵庫県信用保証協会の保証制度を利用する事業者に対し、借入時の信用保証料相当額の一部を支援します。

補助額 最大25万円 **補助率** 1/5 **申請** 随時(ただし、当該年度末までに支払いが完了すること)

対象となる融資制度、保証制度については、市のホームページ(産業振興課)よりご確認ください。

中小企業のデジタル化支援

業務の効率化、生産性の向上を目指すには、ITの活用やDXの導入を!

● 中小企業デジタル化推進セミナーの開催

業務の効率化や生産性の向上を目指す中小企業者を対象に、ITツールを活用しながら学べる実践型のセミナーや、最新のDXを体系的に学べるセミナーなどを開催します。

セミナー開催回数 年6回程度 **セミナー開催場所** 姫路商工会議所・姫路市商工会

※姫路商工会議所・姫路市商工会においては、セミナーの開催のほか、IT専門家派遣等も実施していますので、ぜひご利用ください。

専門家相談事業

事業の承継に関する相談はこちら!

● 事業承継サポート事業

後継者不在など事業の承継に関して悩みを抱える中小企業者を対象に、セミナーを開催するほか、兵庫県事業承継・引継ぎ支援センターの専門家による「事業承継サテライト相談」を定期的実施します。

セミナー開催回数 年2回程度 **セミナー開催場所** 姫路商工会議所

専門家相談 月3回程度 **相談対応場所** 姫路創業ステーション(姫路商工会議所1階) TEL.079-223-6557

※その他、姫路商工会議所職員による対応相談も随時実施していますので、詳しくは姫路商工会議所へお問い合わせください。

海外展開のあらゆる疑問に

● 海外展開相談会の開催

海外でのビジネスを進めるうえで直面する課題や疑問を相談できる海外ビジネスに関するよろず相談会です。豊富な経験と知識を持った専門アドバイザーが相談に応じます。

相談時間 約1時間 **開催回数** 年5回程度

場所 姫路市地場産業センター



兵庫県の融資制度等に係る信用保証料を助成します

兵庫県中小企業融資制度および兵庫県信用保証協会の保証制度の一部について、信用保証料の助成を行っています。

対象者 姫路市内に主たる事業所を有する中小企業者(創業者は見込みを含む)
かつ姫路市税の滞納のない中小企業者

助成対象融資 ①兵庫県中小企業融資のうち、右記の3制度
②兵庫県信用保証協会が実施する保証制度のうち右記の2制度

金融アドバイザーによる相談業務

水曜日を除く、平日週4日(9:00~12:00、13:00~17:00)

※グリーンファミリー制度の交付対象校区において創業する場合は、信用保証料相当額の1/4上乗せ助成制度があります。条件等についてはお問い合わせください。(交付対象校区は、市のホームページ(産業振興課)よりご確認ください。)

①兵庫県中小企業融資制度	割引率
新規開業貸付	50% ※
経営円滑化貸付	5%
長期資金(特別小規模貸付)	15%

②信用保証協会保証制度	割引率
創業関連保証	50% ※
スタートアップ創出促進保証	50% ※

創業者を応援します



問い合わせ先

- ① 姫路商工会議所 中小企業相談所 TEL.079-223-6555
- ② 姫路市産業振興課 TEL.079-221-2507
- ③ 兵庫県信用保証協会 TEL.079-289-3611
- ④ 姫路市産業振興課 TEL.079-221-2453

① 商店街空き店舗対策事業

姫路商工会議所が実施している「中心市街地空き店舗対策事業」を通じ、まちなかの商店街で新たに店舗を開店する場合に、改装費などの一部を支援します。

対象者 中小企業者または創業予定者

対象店舗 中心市街地内にある商店街で3か月以上空いている店舗
※補助内容や条件等についてはお問い合わせください。

② 創業支援事業(創業者応援補助金)

市内で新たに創業される方が、新たに店舗等を出店する場合に内装設備工事費や広告宣伝費の一部を支援します。

対象者 創業セミナーを受講された方、またはその方が代表者を務める法人
(内装設備工事費:創業により新たに店舗等の設置をされる方
広告宣伝費:新たに創業される方、または創業から2年を経過しない方)

対象経費 内装設備工事費、広告宣伝費

補助額 内装設備工事費 最大30万円 広告宣伝費 最大15万円 **補助率** 1/2

※詳しい条件等についてはお問い合わせください。

③ 創業関連融資・保証に対する支援

兵庫県中小企業融資制度の「新規開業貸付」並びに兵庫県信用保証協会の保証制度、「創業関連保証」及び「スタートアップ創出促進保証」を利用した際の信用保証料が割引になります。(左ページ参照)

割引率 50% **融資窓口** 兵庫県中小企業融資制度及び兵庫県信用保証協会の信用保証制度の取扱金融機関

※グリーンファミリー制度の交付対象校区において創業する場合は、信用保証料相当額の1/4上乗せ助成制度があります。条件等についてはお問い合わせください。(左ページ参照)

④ リノベーション内装工事費支援事業

姫路駅西エリアの空き店舗をリノベーションし、新たに店舗を開店する場合に、経費の一部を支援します。

対象者 地域住民等と連携してリノベーションにより、来街者の増加やにぎわい創出等の効果が期待できる店舗等を開店する方

対象経費 内装設備工事費 **補助額** 最大50万円 **補助率** 1/2

※条件等についてはお問い合わせください。

⑤ 姫路創業ステーション

創業を目指す方や創業後間もない方を支援するため、事業計画の立て方や資金調達の方法、支援情報の提供など専門スタッフがワンストップで対応します。さまざまな特典が受けられる創業セミナーのお申し込みもこちらまで!

問い合わせ先 姫路創業ステーション(姫路商工会議所1階) TEL.079-223-6557

⑥ 起業プラザひょうご姫路

創業を目指す方や創業後間もない方が利用できるスモールオフィスやワーキングデスク等を備えた起業家支援施設です。
※当施設は令和8年9月末ごろに閉所し、10月以降は神戸市の施設に機能が集約される予定です。

問い合わせ先 起業プラザひょうご姫路 TEL.079-287-8686 姫路市本町127番地 大手前ダイネンBLD. II 3階

がんばる商店街を応援します



問い合わせ先 姫路市産業振興課
TEL.079-221-2522

こんなときにご利用ください	種類	対象事業	補助率	補助限度額
商店街の活性化イベントを行いたい	イベント	商店街の売り出しを中心としたイベント	10%以内 [※20%以内]	100万円 [※200万円]
		にぎわい創出を目的としたイベント	20%以内 [※40%以内]	
装飾、マップやパンフレットで商店街のイメージアップを図りたい	イメージアップ	<ul style="list-style-type: none"> タペストリー、シャッターアートなどの統一感を表現する装飾事業 マップやパンフレット作成などの商店街を紹介する事業 	20%以内 [※40%以内]	30万円 [※60万円]
自主的にセミナーや研修に取り組み、商店街の人材を育成したい	自主的研修支援	セミナー開催や組合員などの研修調査事業	50%以内	20万円
商店街の公共施設や共同施設などの新設・改修・撤去をしたい	公共施設(新設)	カラー舗装	40%以内	2,500万円
		アーケード、街路灯、休憩所、共同トイレ、駐車場、駐輪場、緑化施設	20%以内	2,500万円
		防犯カメラ監視システム	20%以内	100万円
	公共施設(改修)	アーケード、街路灯、休憩所、共同トイレ、駐車場、駐輪場、緑化施設	(査定事業費-50万円)×20%以内	1,000万円
		カラー舗装(商店街全域または車道と交差する全ての箇所の全面)	40%以内	1,000万円
	公共施設(撤去)	アーケード、街路灯、共同トイレ	1/3以内	500万円
	共同施設等(新設)	統一看板、共同案内板、放送施設、アーチ	10%以内	300万円
	共同施設等(撤去)	統一看板、共同案内板、放送施設、アーチ	1/3以内	500万円
省エネ照明設置(切替)	商店街が所有するアーケード、街路灯、統一看板などの既存の照明器具を省エネ照明(LED等)へ切り替える事業	50%以内	250万円	

※複数の団体が連携して実施する場合

高度化事業計画の認定

商店街振興組合などが、①商店街整備計画 ②店舗集団化計画 ③共同店舗等整備計画 ④商店街整備等支援計画を市に提出し、認定を受けると次のメリットがあります。

- 中小商業活力向上補助金(中小企業庁)の認定要件の緩和(一部)
- 中小企業高度化資金貸付金の無利子化
- 普通、無担保、特別小口保険について限度額別枠等の特例適用

雇用対策を推進します

労働相談・雇用相談

問い合わせ先 姫路市労働政策課 TEL.079-221-2094



● 労働相談

解雇、賃金、就業条件などの問題について、社会保険労務士(第1木曜日)・弁護士(第3木曜日)による労働相談を実施します。

日時 毎月第1・3木曜日 9:30~11:30(先着6名 受付9:00~11:00) ※第1・第3木曜日が祝休日の場合は日時変更有
場所 姫路市役所1階市民相談センター

● 雇用相談

※就職先の紹介は行っていません。

雇用アドバイザーが離職者や事業者などの雇用相談(就職に関するアドバイス、国・県・市などの支援制度紹介など)に応じます。

日時 月~木曜日 9:00~12:00、13:00~17:00(祝休日・年末年始を除く) **場所** 姫路市役所9階労働政策課

中小企業者等人材養成補助金

中小企業者およびその従業員の人材養成を支援し、雇用の安定と職業能力の向上を図ることを目的として、姫路商工会議所が開講する講座のうち、対象となる講座の受講料を市が一部助成します。

問い合わせ先 姫路商工会議所 企業支援担当 TEL.079-223-6557 ※詳細は、姫路商工会議所にお問い合わせください。

中小企業奨学金返済支援事業

兵庫型奨学金返済支援制度の対象となっている市内に本社(主たる事業所)がある中小企業に対して、市も上乗せして、企業負担額の一部を支援します。

対象企業 兵庫型中小企業奨学金返済支援制度事業補助金の受給企業 **対象従業員** 市内の事業所に勤務する従業員であること

補助期間・金額 30歳未満の対象従業員1人につき最大5年間 県補助金の1/4(上限3万円)

問い合わせ先 姫路市労働政策課 TEL.079-221-2094

※兵庫型奨学金返済支援制度については、(一財)兵庫県雇用開発協会(TEL.078-362-6583)にお問い合わせください。

働きやすい職場環境づくりを支援します!

ひょうご仕事と生活センターが実施している「多様な働き方推進支援助成金(働き方改革助成コース・環境整備型)」(対象経費の1/2を助成)の受給事業者に対して、市も上乗せして、経費の一部を支援します。

対象事業者 ひょうご仕事と生活センターの助成金の受給事業者

対象事業 専用トイレ、更衣室、シャワー室の新設、託児スペースの整備、休憩室の整備等 **補助金額** 対象経費の1/4(上限100万円)

問い合わせ先 姫路市労働政策課 TEL.079-221-2094

※ひょうご仕事と生活センターの助成金については、ひょうご仕事と生活センター(TEL.078-381-5277)にお問い合わせください。

地域密着型就職支援サイト「JOB播磨」

掲載企業数約400社!掲載料無料!AI面接特典あり!
兵庫県中播磨県民センター・姫路市・播磨経営者協会が共同運営しています。播磨地域の企業の情報や採用に関する情報を掲載できる地域密着型就職支援サイト「JOB播磨」をぜひご活用ください。

詳しい
情報・登録は
こちら!



問い合わせ先 播磨経営者協会 TEL.079-288-1011

貸会議室・その他の相談窓口

① 会議室はこちら

● 姫路市地場産業センター

姫路駅から徒歩1分という好立地で貸会議室事業を行っています。

問い合わせ先

①姫路市地場産業センター TEL.079-226-3560

②姫路ものづくり支援センター TEL.079-221-8989
(姫路商工会議所2階)

③兵庫県立大学・社会価値創造機構 TEL.079-283-4560
(姫路市地場産業センター3階)

② ものづくりに関する相談はこちら

● 姫路ものづくり支援センター

地域企業のものづくり力の強化を図るため、豊富な知識やノウハウを持った民間企業出身の常駐ディレクターが技術相談、大学や専門機関との「つなぎ」、各種補助金や支援情報の提供など、ものづくりに関するさまざまな相談にワンストップで対応します。

③ 産学連携・共同研究で技術力を向上!

● 兵庫県立大学・社会価値創造機構

研究協力、学術交流の推進を目的に、兵庫県立大学への共同研究や受託研究のニーズについての企画やマッチングの推進、産学連携のコーディネート、外部機関との連携体制の構築などを進めて企業の研究企画をサポートします。また、セミナーなどの開催も多数行っています。

企業立地を促進します

● 企業立地促進制度

工場などを新設・増設・移設・更新する場合に活用することができます。更新は中小企業でかつ製造業に限りです。

問い合わせ先 姫路市企業立地課 TEL.079-221-2515



● 対象要件

① 工場等

対象業種	投下固定資産総額		新規の正規雇用者数または転勤者数		立地場所
	大企業	中小企業	大企業	中小企業	
①製造業	5億円以上	3千万円以上	なし(※)	なし(※)	工業地域 工業専用地域 準工業地域など
②道路貨物運送業・倉庫業	5億円以上	5千万円以上	9人以上	2人以上	

※ 新設の場合は、投下固定資産総額もしくは新規の正規雇用者等のいずれかの要件で足りず。 (人数は下段と同じ)

● 工事着手日の原則30日前までに申請が必要です。(工事着工日以降の申請はできません。)

② 本社事務所

市内に「本社事務所を移転」または市内の「本社を拡充」する事業で、新增設する建物の延べ床面積が500㎡以上純増かつ常用雇用者10人以上(市内本社拡充の場合は20人以上)が従事し、かつ以下のいずれかに該当する場合

- a. 地域再生法の認定を受けたもの
- b. 兵庫県産業立地条例に定める「本社機能立地事業」の認定を受けたもの
- c. 上記a.b以外で登記上の本社本店であり全社的な業務を担当するもの

③ 大規模雇用事業所

「一定規模以上の従業員」が従事する床面積1,000㎡以上の施設を新設する事業で、以下のいずれかに該当する場合

- a. コールセンター又は配送センター等で従業員100人以上のもの
- b. 理学、医学・薬学研究所等で従業員50人以上のもの

※ 従業員については正規・非正規に関わらない

● 奨励措置

種類	工場設置奨励金	事業所奨励金	雇用奨励金
奨励期間	6年間 ①工場等のうち主力製造工場・成長産業・積極雇用で新たな建物建設を伴うもの 4年間 ①工場等のうち新たな建物建設を伴うもの ②本社事務所を設置するもの ③大規模雇用事業所を設置するもの 2年間 ①工場等のうち上記以外のもの		3年間
奨励金額	大企業 固定資産税相当額の3/5	事業所税資産割相当額の3/5	新規の正規雇用者1人につき30万円(女性については30万円を上乗せ)※
	中小企業 固定資産税相当額	事業所税資産割相当額	
限度額	7億円(これまで工場等に用いられていなかった土地の場合は15億円)		

- 主力製造工場とは研究所及び本社機能を併設する工場
 - 成長産業とは国の規定による特定重要物資、県の規定による重点立地促進事業、6次産業化事業、その他市長が認めるもの
 - 積極雇用とは20人以上(中小企業にあつては5人以上)の新規雇用された常用従業員等を操業開始日から1年以上継続して雇用しているもの
- ※ 雇用奨励金の対象者は新規に正規雇用された姫路市民に限りです。

城下町の小さなデザイン事務所

SEED Creative Design

〒670-0940 姫路市三左衛門堀西の町23番地 ドミール姫路

TEL: 079-282-6575
FAX: 079-282-7646
Mail: seed@gaia.eonet.ne.jp

オフィスの新設等を推進します

オフィス立地促進補助金制度

企業等が姫路市内の空きオフィスビル等を賃借し事業所の新設又は増設を行う場合に、その経費の一部を助成します。兵庫県においても補助制度があり、併用できる場合があります。

● 対象事業

兵庫県産業立地条例に基づく立地促進事業を行う事業所

● 雇用要件(いずれかに該当する場合)

- ・新規正規雇用又は市外からの転勤者で、若者(18歳~29歳の者)又は女性が3人以上いる
- ・新規正規雇用又は市外からの転勤者が5人以上(大企業の場合は10人以上)いる

● 奨励措置

(1)賃借料

補助対象経費の1/4以内(月額750円/㎡、年度100万円が上限で3年間)
※ ただし、若者(18歳~29歳の者)又は女性が3人以上いる場合は1/2以内(月額1,500円/㎡、年度200万円が上限で3年間)

(2)改修費等

補助対象経費の1/4以内(100万円が上限)

(3)雇用補助

市内及び連携協約を締結した自治体に住所を有する①新規正規雇用又は②市外からの転勤者1人につき年度15万円(年度2,000万円が上限で①は3年間、②は1年間) ※ ただし、18歳~29歳の者については1人につき年度15万円を上乗せ

イノベーション拠点開設支援

次世代成長産業分野において高度技術を活用した事業を行う企業が新たに市内で事業所を開設する場合に、一定の要件を満たせば賃料等の一部を補助する制度です。

● 補助対象者

新エネルギー等次世代成長産業分野において高度技術を活用し、社会課題の解決を図り、今後成長が見込める3年以上の事業計画を有し、市内において新たに事業所を開設する事業者。

● 対象経費と補助金額(県と市の合計)

	補助率	上限	期間
賃料	1/2	90万円/年	3年間
人件費	定額	200万円/人・年	3年間
改修費	1/2	100万円(※1)	開設時のみ
備品・ソフトウェア取得費	1/2	50万円	開設時のみ

- ※1 空き家、空き店舗活用の場合、プラス100万円
- ※ 兵庫県と姫路市の両方への申請が必要
- ※ 募集期間等については、ホームページ等で別途お知らせします。



工場用地ライブラリー制度

工場用地を必要としている方(需要者)と未利用地を所有している方(供給者)にそれぞれの土地の情報を登録していただき、土地のマッチングを行う制度です。

地域未来投資促進法による支援制度

地域未来投資促進法に基づく本市基本計画に沿った事業を行う場合に、兵庫県知事による地域経済牽引事業計画の承認を受けることで、地域未来投資促進税制の適用や日本政策金融公庫の制度融資など、支援制度を受けられる対象となります。また、市街化調整区域や農業振興地域であっても工場等の建設が可能となりました。条件の詳細は企業立地課へお問い合わせください。

- ※ 地域経済牽引事業計画の策定にあたっては、計画段階で兵庫県又は姫路市に相談してください。
- ※ 日本政策金融公庫の制度融資については、兵庫県知事から地域経済牽引事業計画の承認を受けた場合でも、公庫による融資審査の結果、ご希望に沿えない場合があります。

工場の緑地面積率を最大5%に緩和しています。

- 敷地面積1,000㎡~9,000㎡未満の工場
- 敷地面積9,000㎡以上または建築面積3,000㎡以上の工場

用途地域	緑地面積率(緩和前20%以上)
工業専用地域、工業地域 市街化調整区域	5%以上
準工業地域	10%以上

※ 兵庫県環境の保全と創造に関する条例の対象工場

用途地域	緑地面積率(緩和前20%以上)	環境施設面積率(緩和前25%以上)
工業専用地域、工業地域 市街化調整区域	5%以上	10%以上
準工業地域	10%以上	15%以上

※ 工場立地法の対象工場

FOOD JAPAN 2025

2025年 10月16日～18日 in サンテック・シンガポール国際会議展示場

出展レポート | Exhibitor report

2025年10月16日～18日にシンガポールで開催された、日本の食に特化した日本食品見本市「Food Japan 2025」に姫路市ブースで出展しました。姫路市が取り組む地場産品の海外販路拡大支援と、今回の展示会の様子などをご紹介します。



出展者 **たなか しゅぞうじょう 田中酒造場**

姫路の地で酒造りを続けてきた田中酒造場。創業から190年以上にわたり、その味わいが地域の食文化とともに受け継がれてきました。現在、蔵を率いる田中智久さんは、日本酒を通して姫路の歴史や文化を世界へ届けたいという思いを胸に、海外展開にも力を注いでいます。



白鷺の城・名刀正宗・亀の甲 醸造元 **田中酒造場** TEL:079-236-0006 姫路市広畑区本町3-583

Web site



10年の継続が生んだ信頼と、市場変化への新たな挑戦

シンガポールは東南アジアのハブ都市です。当社は、希少性の高い日本酒を世界に広く知っていただきたいという想いから、シンガポールで開催される「Food Japan」へ出展し、今年で10年目を迎えます。年々、当社ブースに足を運んでくださる常連のお客様も増え、継続することの大切さを実感しています。しかし、この10年の間に市場環境は大きく変化しました。円安やコロナ禍を経て、現地の購買動向も変わっています。出展当初は、720mlで1万円前後の高価格帯商品が主力でしたが、現在は1,000～2,000円台の商品が中心となっています。当初はまだ認知度が低かった分、「レアで価値ある日本酒」として打ち出しやすい側面もありました。近年は高価格帯の商品を購入されていたお客様が実際に日本を訪れ、日本文化そのものを体験されるようになってきました。その影響もあり、現地で求められる日本酒の在り方も変化してきました。そこで今回は、従来のハイエンド商品に加え、手に取りやすい価格帯の商品や、シンガポールの食文化を意識した日本酒をラインナップしました。特に大きな反響があったのは、すっきりとした甘口の「Chateau SHIRASAGI 65」です。もともとは「名刀正宗乙天」という銘柄で、フランスの日本酒コンクールで評価いただいた実績を持ちます。今回、海外市場を意識し、ラベルデザインとネーミングを刷新しました。一方で、当社の強みであるハイエンド商品も高い評価を得ました。その希少性に加え、他の蔵では表現できない透明感のあるクリアな味わいが評価され、改めてブランドの核となる存在であることを確認できました。

10年間の出展を通じて見えてきたのは、市場は常に変化すること。そして、その変化に応じながらも、自社の強みを軸に提案を進化させることの重要性です。シンガポールは今後も東南アジア市場への重要な拠点であり続けます。当社はこれからも、この地での継続的な発信を通じて、日本酒の新たな可能性を切り拓いてまいります。



原点に立ち返り、受け継ぐ技で基礎を磨く

日本酒は、寝かせ具合によって味わいにばらつきが出ます。かなり熟成が進むものもあれば、端麗な味わいそのまま残っているものもあります。もちろん保管状況によっても変わりますが、造り手としてはその違いがどうしても気になります。いつでもどこでも、安心して楽しめる酒を造るにはどうすればよいのか。その原点に立ち返ったとき、行き着いたのが、基礎を徹底的に固めることでした。日本酒は「一に麴、二に酒母、三にもろみ」と言われるほど、何より土台が大事です。土台さえしっかりしていれば、その上に重ねるオプションも安定します。洗米や蒸し、麴づくりといった原料処理を改めて見直し、まだこだわられる部分はないかと考えながら、日々取り組んでいるところです。また、昔ながらの手法にもこだわっています。海外でワインの生産者を訪ねた際、彼らが土地や気候、歴史を何よりも大切にしている姿に心を打たれました。大量生産を迫るのではなく、その土地だからこそ生まれる価値を高めていく。その考え方に深く共感しました。私たちの蔵にも、受け継がれてきた技術や道具があります。それこそが、私たちのオリジナリティーであり、アイデンティティーです。古来より伝わる「石掛式天秤搾り」、ケヤキ、カシ、桜などの木材で組み上げた酒槽に、川の自然石を重しとして用い、もろみの状態を見極めながら三日かけて圧を調整し、ゆっくりと丁寧に搾る。自然の冷気を活かした仕込みのため、酒造りができるのは10月末から3月半ばまでの約半年間に限られます。それでも私たちは、この造りを守り続けていきたい。それは、時代が変わっても、変えてはならないものがあると信じているからです。



姫路の風土が生む、酒の個性

生まれ育った地域の魅力は、普段なかなか意識することがありません。海外を訪れた際、姫路城の建築様式や歴史について尋ねられ、十分に語れなかった経験がありました。改めて学び直す中で、自分たちがどれほど豊かな歴史と文化の中で酒を造っているのかを実感しました。外に出たからこそ、見えてきた価値です。私たちのような小さな蔵にとって大切なのは、「どんな土地で、どんな思いで酒を造っているのか」を伝えることです。歴史ある姫路の地で酒を醸



(かも)しているという事実そのものが、信頼へとつながると考えています。兵庫県は、山の幸と海の幸の双方に恵まれ、古くから文化が深く根付く土地です。食に対する感覚も鋭く、素材や味わいに対する審美眼が磨かれてきました。また、姫路をはじめとする関西は出汁文化の地域でもあります。昆布や鰹節から引き出される繊細な旨味、そして食後にふわりと広がる余韻。その魅力を損なわない酒でありたいと、日々の仕込みに向き合っています。海外向け商品においても、私たちは常に食文化を意識しています。特に重視しているのが「酸味」です。ワインに親しむ方々は、甘みや香りだけでなく、酸の立ち上がりや広がりによって全体のバランスを楽しみます。その感覚に寄り添いながら、料理と自然に調和する味わいを目指しています。土地を知り、食文化を知り、その上で酒を醸すこと。それこそが、姫路で酒を造る私たちのこだわりであり、今回の出展でもお伝えしたかったメッセージです。

ジャパブランドの強さを力に、姫路で造る酒を世界へ

今回の「Food Japan 2025」では、日本酒に馴染みのない方にも関心を持っていただき、日本酒を楽しむことを幅広い世代に伝えられた手応えがあります。付加価値をきちんと伝えれば、価格が高くても選んでいただけることも分かりました。シンガポール以外の国にも市場があると実感でき、「ジャパブランド」の強さを改めて感じています。私は、冒険や開拓が好きなんです。新しい人や、それまで知らなかった考え方に出会うと、その方にどうすれば興味を持ってもらえるかを考える。それが面白いんです。海外に出ることは、自分自身の学びにもつながっています。私にとって日本酒は、自分自身であり、この蔵そのもの。姫路という土地を表す「作品」でもあります。自分が造った作品だからこそ、価値を伝える言葉に重みが生まれ、お客さまにも届く。そこが私たちの強みだと思っています。田中酒造場を知っていただき、ファンになってもらうことが何よりのやりがいです。今後もシンガポールのほか、ニュージーランドなどにも、私たちの日本酒や日本の食文化を広げていきたいと思っています。30年後、50年後、世界中で「出汁料理に合う酒なら田中酒造場」と言ってもらえる存在になりたいですね。

姫路市の取組みについて

姫路市では、地場産品の魅力発信や国内外への販路拡大支援等に取り組んでいます。円安を活かし、地域の「稼ぐ力」の強化を図るため、海外販路拡大支援に力を注いでいます。中でも経済成長著しい東南アジア諸国を輸出先のターゲットとしたASEAN市場最大級の日本食品見本市である「Food Japan 2025」に出展しました。姫路市ブースでは、株式会社杵屋(菓子)、壺坂酒造株式会社(日本酒)、株式会社本田商店(日本酒)、田中酒造場(日本酒)、ヤマサ蒲鉾株式会社(水産練製品)、東亜食品工業株式会社(乾麺)の6事業者が出展しました。



何度も作り直した一杯から始まった挑戦 13種類のスパイスが織りなす本格スープカレー



起業家紹介

スープカレー&ベーグル しずくとまる

店主 山本 祐樹さん

Yamamoto Yuki



(起業 アドバイス) 01

助成金の活用で理想の店舗づくりを

開店に向けて準備を進める中で、いろいろと調べていくうちに「姫路市リノベーション内装工事費支援事業補助金」の存在を知りました。この助成金を活用できたことで、理想としていた店舗づくりを実現することができました。たとえば、店内の壁の色を落ち着いた雰囲気仕上げたり、コンセントを設置して、パソコン作業や携帯電話の充電ができる環境を整えたり。一人で来店されるお客さんにも、ゆっくりと心地よく過ごしてもらえる空間を意識しました。内装にしっかり手をかけられたのは、この助成金があったからこそです。限られた予算の中でも妥協せず、自分たちが思い描いていたお店の形に近づけることができ、本当に助かりました。

正直に言うと、最初からスープカレーが好きだったわけではないんです。起業のきっかけは、母から「この物件が空いているから、何かお店をやってみないか」と声をかけてもらったことでした。ちょうどその頃、たまたまスープカレーを食べに行く機会があって、食べてみたら想像以上に美味しくて、「これを作りたい」と思ったのが始まりです。母は「Komel(コメル)」というベーグル専門店を営んでいます。「ベーグルに合うスープカレーがあったらいいよね」という話を聞いて、その思いも店作りの原点になりました。店名の「しずくとまる」は、スープの「しずく」とベーグルの「まる」を組み合わせたもの。母と一緒に考えた、思入れのある名前です。

母はパン屋なので、朝がとにかく早い。毎日、朝3時から仕込みをしている姿を見てきて、「本当にすごいな」と思っていました。正直、最初は後を継ぐつもりもありませんでした。でも今は、同じように飲食店の経営に関わる立場になり、少しでも母の力になればと思っています。私自身、前職は車の整備士で、接客経験はほとんどありませんでした。お客さんと直接関わる仕事は初めてだったので、不安はありました。ただ、以前ベーグルのイベントを手伝ったとき、お客さんが「めっちゃ美味しそう」「美味しかった」「また買いに来ました」と笑顔で話しているのを見て、飲食の仕事って「人を喜ばせられる仕事なんだな」と感じました。その経験があったから、飲食へのチャレンジに大きな抵抗はありませんでした。

開店にあたって、一番苦労したのは、やはりスパイスの調合です。現在のスープカレーには13種類のスパイスとハーブを使っていますが、そこに辿り着くまでが本当に大変でした。レストラン勤務の経験がある母の知識を借りながら、「本当に美味しい」と思える味に近づけるため、何度も何度も作り直しました。毎日スープカレーを食べて、「これじゃない、これじゃない」って(笑)。スパイスは、炒めた方がいいもの、煮込んだ方がいいものがあるって、どれかが主張しすぎるとバランスが崩れてしまう。風味は豊かだけど、スパイス同士が喧嘩しない、そんな味を目指して調整を重ねました。プレオー

プンの時は、実は2種類のスープを出していたんです。お客さんの反応を見ながらさらに改良を重ね、ようやく今お出ししているスープに辿り着きました。完成したときは、「これや!!」って感じてでしたね。ここまで試行錯誤を重ねて一つの味を完成させる。料理人って本当にすごい仕事だなと実感しました。

実際に店舗をオープンしてからは、想像以上にバタバタしました。もっとスムーズにいくと思っていたんですが、経験が浅かったこともあり、料理の提供が遅れてしまうことも多くて。一気にお客さんが来たときの対応は特に大変でした。失敗もたくさんありましたが、今では調理も接客もかなりスムーズになってきたと感じています。一方で、オープン当初は思ったほどお客さんが来ず、「大丈夫かな」という不安もありました。SNSでの発信が足りず、まだ店の存在が知られていなかったんだと思います。そこから、グルメインフルエンサーの方に紹介していただいたり、知り合いが口コミで広めてくれたりして、「投稿を見て来ました」というお客さんが少しずつ増えていきました。前の職場の仲間が来てくれたのも、とても嬉しかったです。オープンから半年が経ち、今は確実に広がっている手応えを感じています。「美味しかった」「また来るね」という言葉が、何よりのやりがいです。

起業して改めて実感しているのは、「人との関わりの大切さ」。もともと人付き合いが得意な方ではありませんでしたが、「人に紹介してもらえるような人にならない」と思い、積極的に人の集まりにも参加するようになりました。お客さんと話す機会が増え、自然とコミュニケーション力も上がってきたと感じています。常に「笑顔」を大切に、一人でも多くの方を笑顔にしたい。そんな気持ちで、毎日お客さんと向き合っています。今後は、姫路市内のイベントにも積極的に参加していきたいと考えています。イベント出店は、短時間でたくさんの人と出会うのが魅力です。そして長期的には、姫路市内にもう一店舗、二店舗とお店を増やしていくことが目標です。これからも「また来たい」と思ってもらえる店を目指して、挑戦を続けていきます。

(起業 アドバイス) 02

チャンスがあれば迷わずチャレンジ

起業したいと思ったら、とりあえずチャレンジしてみることが大切です。私は身近に助けてくれる仲間がいたので、大きな不安を感じることなく一歩を踏み出すことができました。人との関わりを大切に、自分から情報を取りに行く姿勢が重要です。姫路市のホームページや商工会など、情報を持っている人のところに足を運ぶことで、自分に合った支援や制度に出会うことができます。その中で、「自分には今、何が本当に必要なのか」を見極めることも大事だと思います。人に頼り、情報を集めながら、一つずつ選択していく。その積み重ねが、起業を現実にしていくのだと感じています。



こだわりの

スパイス



「しずくとまる」の最大の特徴は、13種類のスパイスとハーブを独自に調合したスープカレーです。一般的なスープカレー店では3〜5種類程度のスパイスを使用することが多い中、13種類という数は非常に珍しく、試行錯誤を重ねてたどり着いた配合です。完成したスープは、風味豊かでありながら、スパイス同士が主張しすぎることなく、誰でも美味しく食べられるやさしい味わいに仕上げます。スパイスが苦手な方にも、最後まで美味しく楽しんでいただけることを大切にしています。また、スパイスには体を内側から温める働きがあり、食べ進めるうちに自然と汗をかくほど。「体を内から温め、元気に、健康に過ごしてほしい」—そんな想いを込めて、一杯一杯丁寧に作りしています。

こだわりの

食感



母のベーグル専門店の隣接しているからその工夫が、スープの「とろみ」です。一般的なスープカレーはサラサラとした食感が多いですが、「しずくとまる」では、ベーグルにスープがしっかりと絡むよう、あえて少しとろみをつけています。そのとろみの秘密は、じっくり炊き込んだ野菜をペースト状にし、ベースのスープに混ぜ込んでいること。小麦粉や片栗粉などは使わず、野菜そのものの力でとろみを出しています。野菜をたっぷり摂ることができ、体にもやさしい仕上がります。使用する野菜は、姫路を中心とした地元産をできる限り使用し、極力無添加にこだわっています。地産地消を大切にしながら、「お客様は家族」という気持ちで、家族に食事を出す感覚と同じように、安心して食べていただけるものをつひとつ丁寧に作っています。

INFORMATION



スープカレー&ベーグル しずくとまる

〒670-0916 兵庫県姫路市久保町151 シャトー姫路 1F-A

ご予約・お問い合わせ ☎ 079-255-7159

営業時間: 11:00~15:00(L.O.14:30) (カレーが無くなり次第終了)

定休日: 月曜日・木曜日

2025年9月19日にオープンしたスープカレーとベーグル専門店。「“ひとしずく”のスープカレーと丸いベーグルが幸せを届けますように」という思いが詰まった店内は、ゆったりとつらがる落ち着いた雰囲気。13種類のスパイスをブレンドしたこだわりのスープカレーは、辛さの調整が可能で子どもから大人まで幅広い年代のお客さまに愛されています。野菜たっぷり・グルテンフリーの体にやさしいスープカレーを楽しめるお店です。




Instagram



GoogleMap

姫路市LINE LINE 市の最新情報や災害・防災情報、イベント情報などをお届け！
 公式アカウント友だち募集中 ぜび、友だちになってください！ ID @himejcity

『友だち』追加はこちら



令和8年 経済センサス 活動調査を実施します
 全国全ての事業所・企業が対象です

令和8年6月1日現在で、全国のすべての事業所・企業を対象とした「令和8年経済センサス-活動調査」を実施します。比較的小規模な事業所や個人経営の事業所へは、4月にインターネット回答用の調査書類が郵送されますので、ぜひインターネットでご回答をお願いします。インターネット未回答の事業所や新たに把握した事業所には、5月に調査員がお伺いして調査票等を配布します。インターネット又は郵送でご回答ください。比較的大規模の大きい企業等へは、5月頃に調査票等が郵送されますので、インターネット又は郵送でご回答ください。

今さ知る。未来の力になる。



経済センサス 活動調査

経済の国勢調査

令和8年 6月1日 4月～5月にかけ 調査票をお届けします。

回答はインターネットがおすすめです。

※この調査は統計法に基づく基幹統計調査で、調査に回答する義務があります。ご回答いただいた内容は統計作成の目的以外（税の資料など）には、絶対に使用しません。

<https://www.e-census2026.go.jp/>

経済センサス2026 検索

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

総務省・経済産業省・都道府県・市区町村からのお知らせです。

問い合わせ▶ 姫路市デジタル戦略室 TEL.079-221-2208

令和8年度 産学協同研究助成金のご案内について

本市では、大学の学術研究の振興と企業の技術の向上を促進するために、播磨圏域連携中枢都市圏に所在する企業と、市内の大学が協同で行う研究に対して助成する「産学協同研究助成金」を設けています。※選考審査あり
 理系分野に限らず、幅広い分野の協同研究が対象ですので、協同研究の実施を計画されているグループの方は、積極的にご活用ください。

- 助成対象 播磨圏域連携中枢都市圏に所在する企業と市内の大学による協同研究グループ
- 助成金額 助成対象経費の4/5以内(上限250万円)
- 申請期限 令和8年4月21日(火)(必着)
- 参考 令和7年度助成件数：7件

詳しくはこちら



問い合わせ▶ 姫路市高等教育室 TEL.079-221-2596

(低濃度)PCB廃棄物の処理期限は 令和9年3月31日です

ポリ塩化ビフェニル(PCB)を含む電気工作物(変圧器、コンデンサーなど)を保有する事業者は、PCB特別措置法に基づき、期限内(令和9年3月31日まで)に処理する必要があります。現在使用中の低濃度PCB含有機器についても、期限内に処理を完了させてください。中小企業(個人事業主含む)向け適正処理支援制度についてもご確認を。なお高濃度PCB廃棄物の処分は終了していますが、新規発見した場合は直ちに市に連絡してください。

支援制度の問い合わせ
 公益財団法人 産業廃棄物処理事業振興財団低濃度PCB助成金コールセンター
 TEL.098-995-7100

詳しくはこちら




問い合わせ▶ 姫路市産業廃棄物対策課 TEL.079-221-2405

豪華クルーズ客船が ぞくぞく姫路港にやってきます

姫路港に、クルーズ客船が続々と寄港予定です。歓迎式典や歓送迎演奏の実施も予定しており、一般の方も岸壁から間近に船を見ることが出来ますので、是非ご来場ください。

日時	船名	乗員数	寄港日	時間
	飛鳥III (日本)	定員744人	令和8年3月31日(火)	7時~19時
	ル・ソレアル (フランス)	定員264人	令和8年4月2日(木)	11時~18時半
			令和8年5月10日(日)	7時~21時半
			令和8年5月28日(木)	11時~18時半

場所 姫路港(節磨地区 節磨第4号岸壁)
 ※詳しくはホームページを確認を。
 ※天候や運行スケジュール等により、実施時間の変更や中止となる場合があります。

詳しくはこちら




問い合わせ▶ 兵庫県姫路港管理事務所・姫路市産業振興課 TEL.079-235-0176・079-221-2504

令和8年度 兵庫県立ものづくり大学校

企業に在職中の方を対象に、さまざまなスキルアップを図るメニューを用意しています。令和8年度の講座情報は、ホームページでご覧いただけます。ぜひ、ご活用ください。

兵庫県マスコット ははたん

お申し込みについてはコチラ

詳細は当校ホームページの「在職者訓練」をご覧ください。
 HP: <https://monodai.ac.jp/for-workers-about>

お問い合わせはコチラ

兵庫県立ものづくり大学校 在職者訓練課
 TEL.079-240-7363
 FAX.079-281-6626



ウエットタオル・ウエットティッシュ・おしぼり製造

株式会社DNコーポレーション

〒672-8014 兵庫県姫路市東山1245
<https://dncorp.co.jp/>

お問い合わせは 079-245-4911 [受付時間] 9:00~17:00




脱プラスチック エコジーンガー

香りDM

テイクアウトボックス

卓上カレンダー

オールペーパー製品

三井紙工株式会社

TEL.079-253-4477(代) FAX.079-253-7005 E-mail.info@mitsui-printing.com
 ご興味のある方はぜひお問い合わせください。オリジナル商品の相談も承ります。(担当:三井)

